

魔胎奇伝マァムVI

翻弄・光明・王女の悲恋



Abalone Soft
adult only

成人向け
FOR ADULT

警告！

本サークル作品は表紙画像以外のネット上への無断アップ・無断公開を一切禁じております。発見次第、無断公開行為をした本人及び支援者（無断公開ファイルの場所やハッシュを紹介したブログ・掲示板の書き込みに関しましても一切の例外なく支援とみなします）サイトのサーバー管理者並びにこれらの行為を広告により支援した企業にむけまして、以下の損害賠償額を請求します。

ダウンロード数がわかるものに関しましては会場頒布価格（ページ単位の場合は頒布価格÷頁数）×ダウンロード数、数がわからない場合は当方で前例より損害の金額を算定し、こちらに業務妨害損害賠償金（概算一作品あたり50万円）を加算した金額。

アップした本人・サイト管理者だけでなく、特定できる場合はダウンロードした本人にも会場頒布価格+業務妨害損害賠償金（一作品あたり10万円）…をお支払いいただきます。

弁護士より助言を受け、以上の警告文を掲載させていただきました。

不快に思われた方には、誠に申し訳ありません。不正行為撲滅に御理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。

大魔王パーンとの死闘から数年…

ポップ・メルルと旅をしていたマアムの元に皇女レオナが行方不明になったとの報が入る。

探索に向かうマアム・メルル・マリンしかし、その前に立ちはだかったのは何と、淫魔ブラックモアに取り憑かれ、正気を失ったポップだった。

ブラックモアは、ポップの強大な魔力を糧に触手を自在に操り彼女達を捕らえ蹂躪する。

陰惨なレイプ劇の前にポップの自我は墮ちその身体は完全にブラックモアに乗っ取られ穴の奥へと消えていった…。

(魔胎奇伝マアム)



そのころ、レオナは女淫魔の洗脳を受けていた。ヤンティスと呼ばれるその淫魔は人間界の王女であるレオナの身体を操り日の当たる世界を手中に収めるという野望を語る…。



ブラックモアに取り憑かれたポップ・行方不明のレオナ二人を救出する為マアムはメルル・エイミと共に魔穴に潜入する。

だが、ポップの姿をした淫魔ブラックモアに動揺を隠せないメルルは、淫魔の繭に囚われてしまう。

そこでメルルに告げられる非情な現実。それは、先の陵辱で下等淫魔の子種をその子宮に宿されている事。そして、もはや愛する人の子供を作れないという事…

叶わぬ恋に絶望したメルルの心は快楽に墮ち、繭の奥深く消えていく…

必死に彼女の名を叫ぶマームにもブラックモアの魔手が伸びる。拘束された身体を罵られ、何度も何度も絶頂を繰り返され…そしてついに、マームの膣内に「上級淫魔の精子」が注ぎ込まれてしまった…!

(魔胎奇伝マームII)

一晩で異様な成長を見せる胎児。マームの腹は膨らみ、誰が見ても、まともに戦える状態ではない。絶望的な状況のなか、再び魔穴の中へと歩を進めようとするマームの前に、ヒュンケル・クロコダイン・チウの三人が現れる。

魔力を持たぬ三人なら、ブラックモアに操られることはない。希望の光を見出したマームとエイミは、三人をパーティに加え魔穴に挑む。だが、女淫魔ヤンティスの策略にはまりマームとクロコダイン・チウは魔穴の最奥へと落とされる。

メルルとエイミの身体を操り、ヒュンケルを誘惑するヤンティス。

腹の子に操られ、クロコダイン・チウを前に淫態を晒すマーム。

パーティは絶体絶命の危機を迎えていた…!

(魔胎奇伝マームIII)





精液を受けるたびに成長していく腹の魔児のため
クロコダインとチウの必死の叫びもむなしく、淫らな行為
にふけるマム。

一方、ヒュンケルも女淫魔に操られるエイミ・メルルに
組み敷かれていた。エイミのヒュンケルに対する感情を
快楽に変えて、食欲にそれをむさぼるヤンティス。

絶頂とともにエイミの心が堕ちようとしたその瞬間、
淫魔ブラックモアが現れ、何者かがレオナをさらったと
ヤンティスに伝える。急ぎレオナを追うヤンティス。

ヒュンケルとエイミも、傷つけられた想いを抑え、
マム達の元に向かう。

しかし、そこで彼らが見たものは、クロコダインとチウの
精をむさぼり、くり返す絶頂に悶えながら魔児を産み落とす
彼女の姿だった…！

魔穴の外れ、ようやくレオナを見つけだしたヤンティス。
レオナを抱きかかえる男の姿…。
それはかつて彼女が愛した勇者・ダイだった…。

(魔胎奇伝マムIV)

マムの産み落とした魔児に誘われ、
魔穴の奥へと飛ばされたマム達は、
ダイの姿を見る。だがそれは、異世界にいるダイが
レオナを助けたい一心で放った思念体だった。

ヤンティスの姦計に再び嵌ってしまう一行。

拘束されたヒュンケルは、ダイの思念体の目の前で、
成すすべなく、操られたレ●ナの処女膣を奪わされる。

一方、気を失ったマムは魔児の手に落ちていた。

魔児は、マムの子宮を目指し、歩を進める
愛する母の胎内へ、母の全てを支配するために…

膣から子宮へ…狂気の帰還劇が終わりをつけ、
魔児の瞳がさらに怪しく光を増すのであった…。

(魔胎奇伝マムV)





みなさまこんにちは！

半期に一度のAbaloneSoft『魔胎奇伝マム』シリーズも、
今回で6作目・第一部完となります。

なんだよ、まだ続くのかよ・・・とガツガツしないで下さい、
続くみたいですよ、ええ。

気付けば、魔胎奇伝シリーズを描き始めて

もう3年になるんですねえ・・・Σ(・c_・lll)

時の流れは早いものです。

遅いのは妹次郎の執筆速度だけです(・エ・)

少なくとも半年一作のペースだけは守って行こうと思いますので、

シリーズ完結まで、もうしばらくお付き合いをお願いします♪

ええと、近況ですが

前回『魔胎奇伝マムV』の前書きで紹介しました三毛猫の
『はるみちゃん』が今シーズンから、原稿部屋の現場主任になりました。

毎日まいにち、誰よりも早く仕事場に来て、ほぼ一日中ネコタワーの上から
「ちゃんと原稿描きたまえ」的な目で見下ろしてくれています。

たまにタワーから降りてきては、直接指導をしてくれます。

「ペン先そろそろ換えたまえ」と言わんばかりにGペンに噛り付いて見事捻じ曲げてくれたり

「まだ下描きなのかね、どれ手伝おうか」と原稿用紙の上に寝転んでくれたり...

そのたびに「はるみ主任ご指導ありがとうございますもふもふ」と

腹に顔をうずめる毎日...

おかげで、姉太郎からの白い目にも慣れる事が出来ました。

そして、いつも以上に原稿に遅れが生じ・・・(・c_・)

今回も無事にこの本が出せたならば、

全て姉太郎と印刷屋さんのおかげです♥

そして、読んで下さっている皆様にも(人)感謝♪

今回でとりあえずの一区切り、楽しんで頂けたら嬉しいです。

2011.12月某日 閑亭妹次郎



ママ、イクのが止まらないのっ。成長した浮魔が子宮に入ったんだもの当然か



クスクス...

クスクス...



僕の事大好きになるように
種れたく
なくなるように

もっともっと
気持ちよく
してあげる



これ、何の穴なのかわかる？



ねえ、ママ？



卵管だよら
ママの卵子と
パパの精子が
いっぱい入ってる

同じ上級淫魔
の精子なら、
僕の子種もママを
孕ませられるよね

な…
何を…!

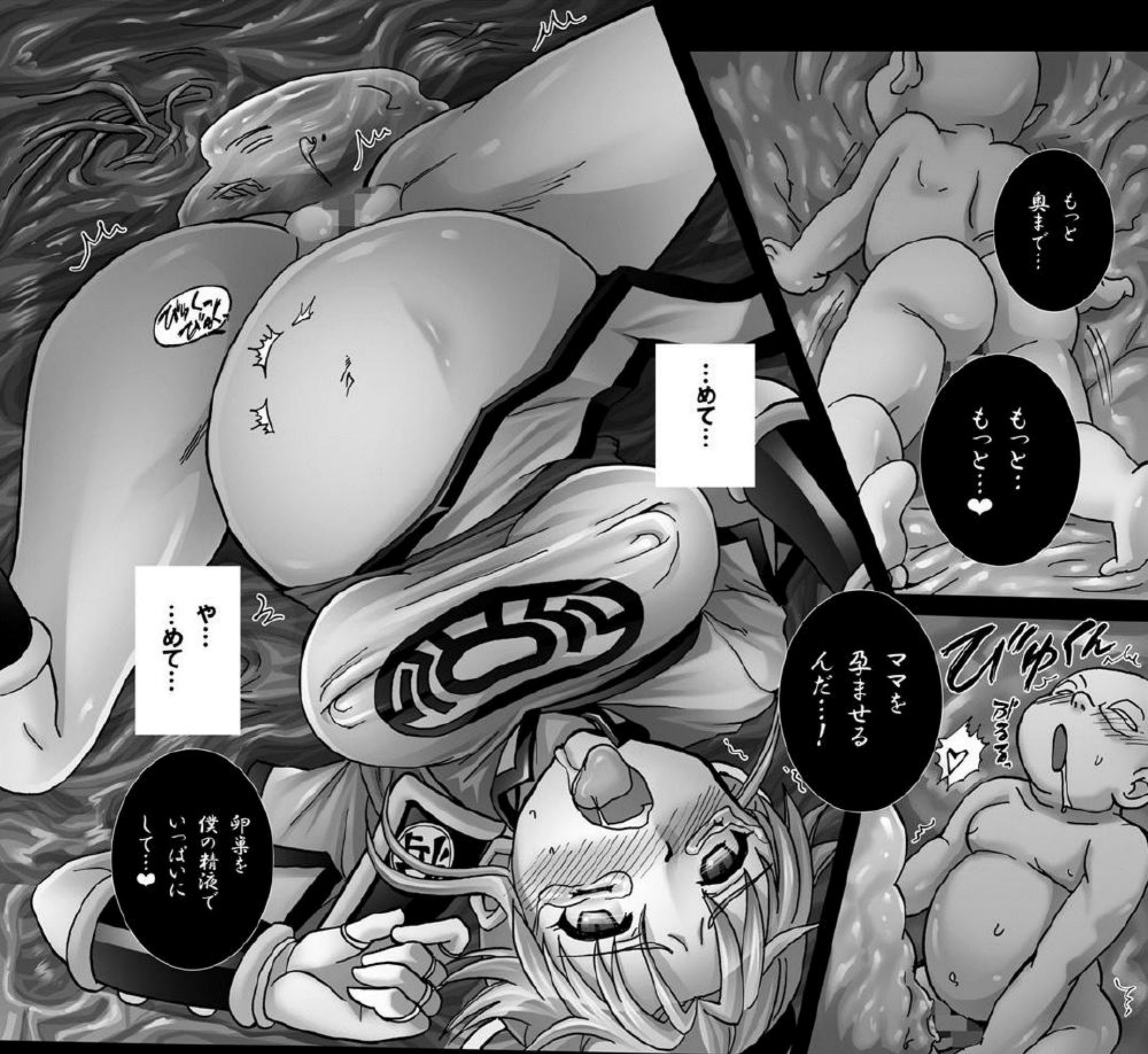


やめて…
やめなさい!
そんなの…
許される…わけ…

うわっ
気持ちいい!

ママの
卵管すごく
気持ちいいよ!

く…う…
抗え…ない
意識が…薄れていく



もじと
奥まで...

もじと...
もじと...♡

...あ...
...あ...

や...
...あ...

ママを
孕ませる
んだ...!

びゅん
ぽん

卵巣を
僕の精液で
いっぱい
して...♡



まだまだよ
ママ
まだいっぱい
出るからね♡

...
...
...

あ
あ



すごいのお
子宮が精液で
パンパンじゃ

うん...
うん...

うん...



絶対にママを
ボクだけの
モノにするから...



大事な仲間の
想い人にたつぷりと
種付けしおって...
節操のない男じゃの

どれ近くて
見せて
くれようぞ



ほれ

むわ、



見たか勇者よ
姐がお主の仲間と
淫らに交わる様を
.....

おや?

またまるで
薄れておらぬの...
なんと強い思念じゃ



どうじゃ
哀しいか？
くやしいか？

他の男と交わる
姫の痴態は
美しかったか？



もはや
反応
なしか…

ふふ…しかし
姫の身体ならば
まだ触れる事が
出来るようじゃ

こやつには
もう少し
役に立って
もらおうかの



姫の心を
完全に墮とし
この美しい肉を
我が物とする
ためにのう



さあ
勇者よ
とくと見よ

お主の愛しい
女の秘部じゃ
お主の信頼する
仲間の雄汁じゃ

あの男の肉棒と
こすれあい
こんなにも
いやらしく腫れて
濡れそぼっておる



吸めるたびに
理性が
さらわれていく



これ
以外の事は
考えられぬ

この肉の棒が
愛しくて
たまらぬ...



こんな...
子供のよ様な男根に...
どういふことじゃ...?

な...
んじや?



これを...
わらの腔内に...♡
そう考えるだけで...
...もう♡



恋しい...

恋しい...



なぜ...わらわは
こんな
乱れて...

を...んじやう?
おかし...
は



な...責様...
まだ...
動け...



!!

ああ!!



ま...待て!!
まだダメじゃ!
今...今入れられ
たら...!

あ♡

な...! こやつ
何を考えておる...?
思念体の身で
女を抱こうなどと
...まさか...!!



ヒクッ
ッ
ッ

あ〜っ♡

IP
ッ
ッ

ばかな…

ばかな!

んんっ♡

あ〜っ♡

はっ♡

おん
ッ
ッ

おん
ッ
ッ

おん
ッ
ッ

こやつは
思念体のはずじゃー！
どうして
こんなにも固い？
何故熱いのじゃ…？

おん
ッ
ッ



ダイ…
くん

…れしっ



いか…ん…
このまま…ては
姫の意識…に
飲み込まれ…!

あ…い…

ダ…く…ん

あ…ん



これは…
レオナの
声…!?



な…んだ?
拘束が
ゆるんだ…?

それに
こいつらの
呆けた様子は…?



ぽろぽろ

私の奥に
ダイ君が
届いてる…っ

嬉しいよ
ダイ君

ぽろぽろ



ジュ
ガ
マ

ダイ君を
感じるよ…っ

固い…っ
固いよ
ダイ君!

ゲ
マ



大好きっ♡

好きっ♡

ずっとずっと
会いたかったん
だよ!
ダイ君!!

ずっとならして
抱きあいたかったん
だから!

ギョウウウウウウ



これレオナの意識が
戻っているのか?



そうだ!
マアムは...



下腹部
…あれは
子宮？

何かに
抑えつけられて
弱々しく
縮こまっている
ような…



そうか…
この子と…

この子と同じ
気配なんだ…

ドクッ…

今の私なら
分かる…！！
レオナに取り憑いた
女淫魔の所在が…



子宮？

そうね
間違い
ない…！！

そうか…
女淫魔が女しか
操れないのは
女にしかない器官に
取り憑くから
なのか…！！

くっ…しかし
場所が分かっても
レオナの胎内では
攻撃する手立てが
…



マホイミ…は
どうかしら？

な!?

確かにあの呪文は
生体組織を破壊する
恐ろしいものだけど…
元々は強力すぎる
ホイミなの

子宮の中には
強力な自浄能力が
あるから
うまく加減すれば
レオナに影響なく
淫魔だけを倒せる
かもしれないわ



しかし…
どうやって
レオナの女性器に
マホイミを…

おい！
マアム！！

ダイの体の経脈
を使えば…レオナの
臍内に直接送り込める
かもしれない…

ダイの身体を
使う気か？
ムリだ！
あれは思念体
触れる事は
出来ない！

見たでしよう？
ダイはレオナを
抱えていたわ
…今だって…！

ダイの強い思いが
きつと奇跡を
起こしているのよ！

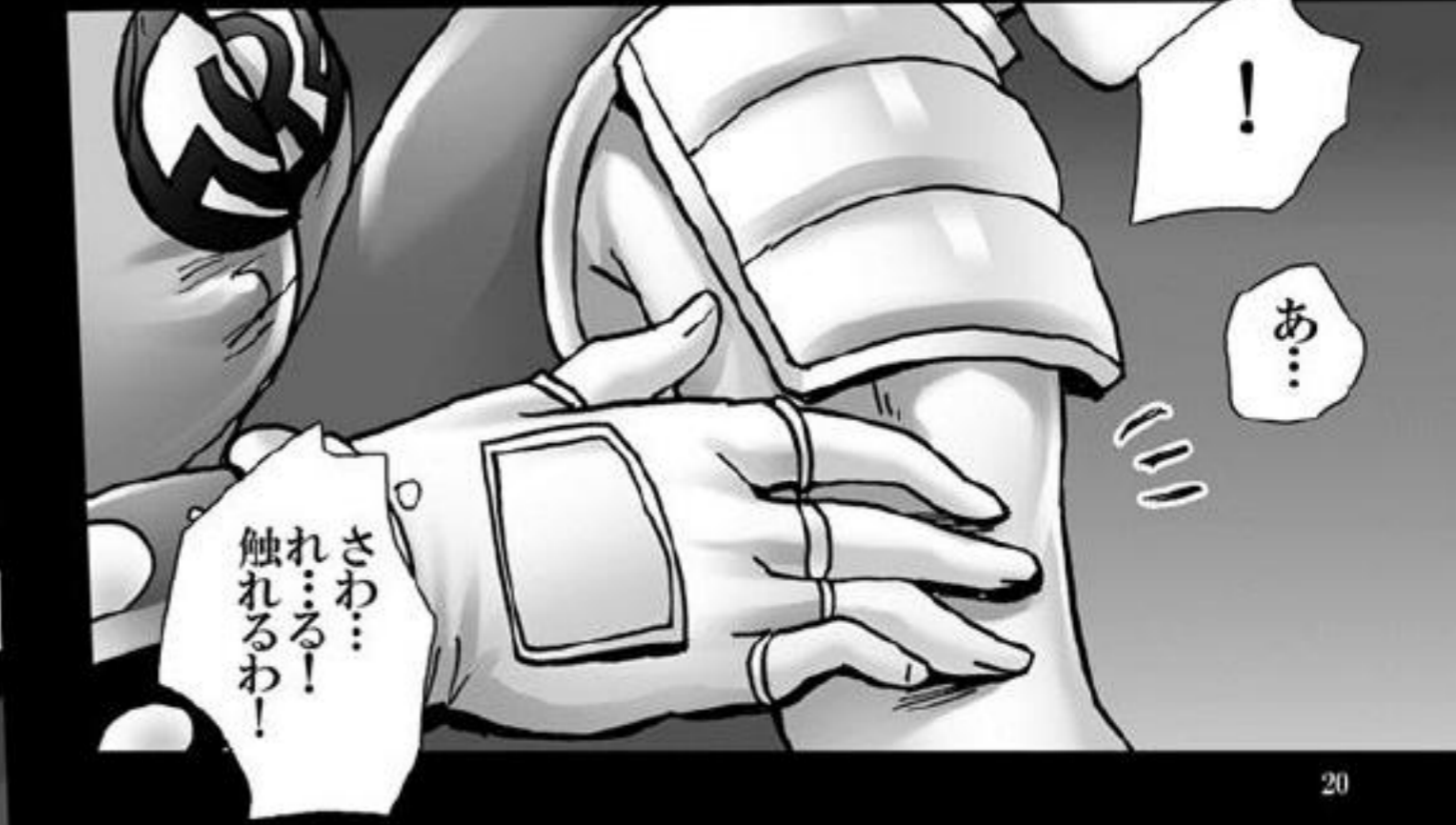


あ…
あ…！

ぎゃう
ありがとうございます
ダイ…っ！
ありがとうございます…っ！！



お願いダイ
私達に
力を貸して…！



さわ…
れ…る！
触れるわ！



え...?

ダイと私が
つながって...
そこから何か
流れてくる...?



ママムが
ダイに...
溶けこんで
いく...?

なっ



びく

んっ

!?

え...



な...に? 何これ...
下半身の...
あるはずのない所から
すこい快感が
押し上がってくる...!!

これは何?
もしや今ダイが
感じているものが
伝わってきて
いるの...??

ゾクゾク...



熱いとろとろの肉に
ごくごく
飲み込まれていく
ような...
これが男性器の
快感...!!

ギョウギョウ

ずるるる

ギョウギョウ...

ぎゅぎゅ



一生懸命
奥へと誘って…
たっぷりの愛液で
潤して…
その体温で肉ヒタで
けなげに奉仕して
激しく求めて…っ



はっ

あ
♡

…っ

レオナの
想いが
痛いくらいに
伝わって
くる…っ！



はぁぁぁ

…いくわよ
ダイ!

待ってて
絶対に…
絶対に助けるわ
レオナ…!!



…っ
ううう

…っ
頭の中が…
真っ白に
はじける…っ!!



マホイミと
気を練り上げて
精巣に
流し込むわ



ブラックモア
なぜじゃ
なぜ助けに来て
くれぬ？

ああ
惜しや
もうすこして...

姫の身体を...
奪えた...ものを...

レオナの身体から
女淫魔の気配が
消えたわ...

ブラックモアは...
どうして助けに
来なかったのかしら
...

同族の仲間
に助けを請わ
れたのに...

とりあえず今は
その疑問は後回しだ
皆を介抱して
一旦ここを退こう！

ズウウ ャッ

おい
エイミー！
メルル！

レオナ！
大丈夫？



皆が…私のせいで
酷い目にあつた
なんて…

私…不安だったの
ダイ君は生きてるって
信じてたけど…
私のところにはもう来て
くれないんじゃないかって…
そこを淫魔に付け込まれて…

あんな…



…めん…
…さう…

ごめん…
なさい…

レオナ…



ダイ君の…
声…？

ダイの思念体が
…始めて
しゃべった…



私…
わたし…

レオナ

泣かないで
レオナ…



ダイ君は勇者だから
皆に優しく、私は
特別な存在じゃない
のかもしれないって
…だから…

私を抱いてくれる
淫魔のダイ君を
信じたかった
覚めない夢でも
いい…

本物のダイ君は
私を想って…
ずっと…ずっと
見守って
くれていたのに…！



よかった
俺の声が
聞こえるんだね

ずっと伝えた
かったんだ…
俺もレオナが
好きだよ
…大好きだよ

今はまだ黒の核晶
の爆発でやられた
身体の損傷が激しくて
動けないけれど…

目が覚めたら
必ず一番最初に
君のところに帰る
…約束するよ…



レオナは
お姫様だから
世継ぎの心配も
されるだろうし

ただ…それが
いつになるかは
俺にも
わからないんだ…

若くてきれいだから
いつか俺よりずっと
いい男が目の前に
現れるかもしれない

そんな時は
俺のことを忘れて
君自身の幸せだけを
考えて欲しいんだ



俺は、レオナが
大好きだから
レオナが幸せに笑って
この地上を守る為
身を投げ出した

その地上で
レオナがひとり
苦しんでいる姿を
見るのは本当に
辛かったよ

僕はレオナに
何もしてあげられ
ないんだって
痛いほど思い知った
…だから…

レオナが誰のものに
なったとしても
その人の横で笑って
いるなら…
俺は嬉しい



ダイ君…
身体が…

うん…もう
力が尽きた
みたいだ…

また…
しばらくの間
眠りに
つかなきや



ダイ君
本当に
ありがとう…

だけど私はきつと
ずっとダイ君の事
が大好きで、
君を待ち続けたいの
…いいよね？

ダイ君が私を愛して
くれていたら
迷う必要なんて無いもの
後悔だつてしないわ



だけど！
もうひとつだけ
約束して



私、いつまでも
待てるわよ
ダイ君

次にあった時は
何を話そうかな、とか
何か美味しいもの
作ってあげようかな、
とか考えてるだけで

今はとても
幸せな気分
になれるもの…



帰ってきたら
すぐに
さっきの続きを
してよね！

ふふ…私が
おばあちゃんに
なる前に
帰ってこないと
大変なんだから！



ママム…

ダイ…



あ…は
あはは
いつものレオナ
に戻ったね

安心したよ
じゃあ俺は
…いくね…



あなたが地上に戻る
その時までには
ポツの身体も取り返して
全員笑顔でお迎えにいくわ

だから…



ポツと君を
助けられなくて
…ごめん…

何いつのの!
充分に助けられたわ
それに淫魔を倒す
光明も見えよきた!
今はゆっくり眠って



だから早く…
早く帰って
くるのよ
ダイ…!!



To Be Continued...

魔胎奇伝マァムVI

発行日:2011.12.31

発行:AbaloneSoft
<http://abalone-soft.sakura.ne.jp/>

印刷:サングループ様

警告!

本サークル作品は表紙画像以外のネット上への無断アップ・無断公開を一切禁じております。発見次第、無断公開行為をした本人及び支援者(無断公開ファイルの場所やハッシュを紹介したブログ・掲示板の書き込みに関しましても一切の例外なく支援とみなします)サイトのサーバー管理者並びにこれらの行為を広告により支援した企業にむけて、以下の損害賠償額を請求します。

ダウンロード数がわかるものに関しては会場頒布価格(ページ単位の場合は頒布価格÷頁数)×ダウンロード数、数がわからない場合は当方で前例より損害の金額を算定し、こちらに業務妨害損害賠償金(概算一作品あたり50万円)を加算した金額。

アップした本人・サイト管理者だけでなく、特定できる場合はダウンロードした本人にも会場頒布価格+業務妨害損害賠償金(一作品あたり10万円)…をお支払いいただきます。

弁護士より助言を受け、以上の警告文を掲載させていただきました。

不快に思われた方には、誠に申し訳ありません。不正行為撲滅に御理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。



魔胎奇伝マアムVI

翻弄・光明・主女の悲恋

